

学校の部活動に係る活動方針

静岡県立天竜高等学校 春野校舎

1 部活動の意義

(1) 「静岡県部活動ガイドライン」による部活動の意義

- ◆部活動が生徒の人格形成に大きく寄与しており、日本の学校文化の中できわめて重要な役割を果たしてきていること
- ◆より高い水準や記録に挑戦したいという人間の本源的な欲求に応え、爽快感、達成感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすという内在的な価値を有していること
- ◆生徒が異年齢集団に属し、仲間や教員等との密接な関わりを通して、社会性を育むことができる点で大切な役割を担っていること
- ◆目標達成に向かって互いに励まし合い、高め合う営みは、他者の多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にし、よりよい社会づくりに参画する「有徳の人」の育成に資するものであること

(2) 本校における部活動の意義

本校では、「立志力行」という校訓の下、社会を生き抜く主体性や行動力を培う場として、また「夢や希望に向かって努力し、自分らしく生きることを実現する」を教育目標として、他者や地域とのかかわり合いの中で自分なりの新たな夢や目標を持つために、部活動は重要な役割を果たしています。授業以外でも行事や委員会活動、部活動を通して、生徒が自己肯定感を高めたり、規範意識の涵養や豊かな社会性を身につけることを期待しています。また、部活動が果たす役割の重要性を踏まえ、クラスや学年を越えた集団のなか、豊かな人間性を育む活動を行っています。

2 本校における部活動活動方針

(1) 活動目標

- ア 仲間や教員との関わりの中で、自己肯定感を高め、社会性や規範意識を育成する。
- イ 知力・感性・社会性・体力等、バランスのとれた心身の成長を促す。
- ウ 大会や発表会への参加や日常的な活動を通して、目標に向かって努力する態度を培う。
- エ 生涯に渡ってスポーツや芸術活動等に親しむことができるよう、基礎的な実践力を育成する。

オ 生徒や教員が、家族と過ごしたり自己を研鑽したりする時間を十分確保できるよう、部活動時間を効率化する。

(2) 成果目標

ア 「部活動に積極的に参加し充実している」と答える生徒の割合：75%以上

イ 各部活動が年度当初に設定した目標を達成する部活動の割合：60%以上

(3) 目標達成のための具体的な取組

ア 部活動検討部会の設置

◇構成員：教頭、生徒保健課長、生徒保健課部活動担当教員
運動部代表、文化部代表

◇検討内容：
・学校部活動基本方針の検証と見直し
・各部活動の休養日や活動時間の設定
・適切な部活動の設置と顧問の配置
・指導経験が少ない部活動顧問に対する支援
・外部指導者の効率的な活用
・部員数の状況による合同部活動の検討
・指導者の資質向上、体罰の根絶、事故防止に向けた研修の企画と実施

イ 生徒部長会の設置

ウ 平常時の部活動休養日及び活動時間の設定

休養日…週当たり2日以上休養日を設ける。(平日は少なくとも1日、週休日(学校の休業日)は少なくとも1日以上を休養日とする。)

活動時間…1日の活動時間は平日では長くとも3時間程度、週休日(学校の休業日)は4時間程度とする。

終了時刻…17時30分には活動を終了し、速やかに下校する。

※運用上の留意点

・活動日数や時間は、試合期等でまとまった練習等の時間が必要な場合など、状況により柔軟な対応が可能である。ただし、活動日数や時間を変更する場合は、あらかじめ校長の了解を取り、一定期間内の他の日に振り替えるなどの調整を行う。また、その調整については、適切に保護者や生徒等に周知する。

エ 定期テスト前の部活動の休止

◇定期テスト1週間前から、部活動休止期間とする。

※公式戦(準公式戦)を控える部については、テスト前部活動許可願の提出により、部活動が許可される場合がある。その場合の活動時間は概ね1時間とする。

オ 部活動に係る活動計画の作成と公表

◇年間活動計画…年度当初に、年間の大会や遠征等の計画と年度の目標を設定

◇月間活動計画…毎月初までに、各月の活動計画を設定

※各計画は、生徒や保護者に情報を提供・共有する。